

平成 15 年 5 月 16 日

各 位

会 社 名 北陸電気工業株式会社
代表者名 取締役社長 野村正也
(コード番号 6989 東証第 1 部)
問合せ先 取締役経理部長 野村 哲
(TEL. 076-467-1111)

資本準備金の欠損てん補と資本減少に関するお知らせ

当社は、平成 15 年 5 月 16 日開催の取締役会において、平成 15 年 6 月 27 日に開催を予定している定時株主総会に、下記のとおり資本準備金の欠損てん補と資本の減少（以下 形式的資本減少）について付議することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 資本準備金の欠損てん補と形式的資本減少の目的

- (1) 平成 14 年 12 月 24 日に公表いたしました「HDK 再生プログラム」に記載のとおり財務リストラを完了し、今後は本業による収益拡大を実現させるべく経営に取り組んでおります。
- (2) 継続的そして安定的な利益の計上により、一刻も早く株主の皆様への配当を実現させていただくのが現経営陣にとりましての最大の課題と認識いたしております。
- (3) 本議案は、「早期の復配の実現」と「連結を含めた財務体質の強化」などを目的としております。株主の皆様にご迷惑をおかけすることなく目的を達するため、「資本準備金の欠損てん補」（商法 289 条①）と株式数の減少を伴わない「形式的資本減少」（商法 375 条）を選択し、累積欠損金を解消し新資本金を 30 億円といたしたく、6 月開催の株主総会に付議させていただく予定であります。

2. 資本準備金の欠損てん補と形式的資本減少の内容

平成 15 年 6 月 27 日開催予定の定時株主総会の議案として、次のとおり付議する予定であります。

(1) 資本準備金の欠損てん補（減少すべき資本準備金の額）

損失処理案として、資本準備金 538 百万円全額を使用して資本の欠損てん補に充てることを予定しております。

(2) 形式的資本減少

①減少すべき資本の額

当社の資本の額 12,669 百万円を 9,669 百万円減少させ 3,000 百万円とする予定であります。

②資本減少の方法

発行済株式総数の変更は行わず、資本の額を無償で減少する予定であります。

③欠損のてん補に充てる額等

資本減少額 9,669 百万円のうち 4,360 百万円を資本の欠損てん補に充て、累積欠損金を一掃し、残額 5,308 百万円は「資本金及び資本準備金減少差益」として内部留保させていただく予定であります。

④日程

平成 15 年 6 月 27 日開催予定の定時株主総会において議案可決後、所定の債権者保護手続きを経て、平成 15 年 8 月初旬に資本減少の効力が発生する見込であります。

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

以 上

＜ご参考＞

1. 資本準備金の欠損てん補と形式的資本減少による「資本の部」の内訳

下表のとおり、資本合計及び発行済株式数が変わらないため、1株当たり純資産額も変わらず、実質的に株主の皆様にご迷惑をおかけすることは無いと考えておりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

—金額は百万円未満切り捨て表示—		(百万円)
	議案可決前(15年3月期)	可決後(所定手続後)
(資本の部)		
資本金	12,669	3,000
資本剰余金	538	5,308
資本準備金	538	0
その他資本剰余金	—	5,308
資本金及び資本準備金減少差益	—	5,308
利益剰余金	△ 4,899	—
当期末処理損失	4,899	—
土地再評価差額金	536	536
株式等評価差額金	△ 31	△ 31
自己株式	△ 13	△ 13
資本合計	8,800	8,800
発行済株式数	83,700千株	83,700千株
1株当たり純資産額*	105.40円	105.40円

* 自己株式控除後の金額です。

2. 「再生プログラムにて公表の事業計画(単体)」 —抜粋— (百万円)

	14年3月期実績	15年3月期計画	15年3月期実績	16年3月期計画	17年3月期計画
売上高	33,816	33,700	33,783	34,200	35,800
当期純利益	▲ 4,393	200	229	400	1,000
自己資本	8,640	8,840	8,800	9,240	10,240